

平成24年度宮古群島病害虫発生予報第6号(9月予報)

I 9月の気象予報

向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)

	気 温	降 水 量	日照時間
高い(多い)	30	60	20
平 年 並	40	30	40
低い(少ない)	30	10	40

(平成24年8月24日付沖縄気象台発表・沖縄地方1か月予報)

平年値

	平均気温(°C)	最高気温(°C)	最低気温(°C)	降水量(mm)	日照時間(h)
宮古群島(宮古島)	27.4	30.0	25.3	230.0	184.6

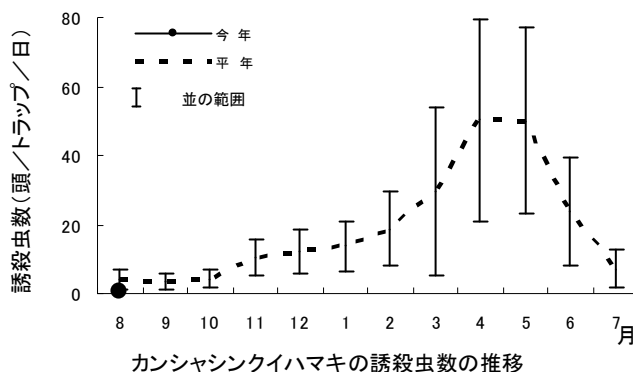
(沖縄気象台発表・統計期間1981～2010・資料年数30年)

II 9月の発生予報および防除上の注意事項

1 さとうきび

○ カンシャシクイハマキの防除対策

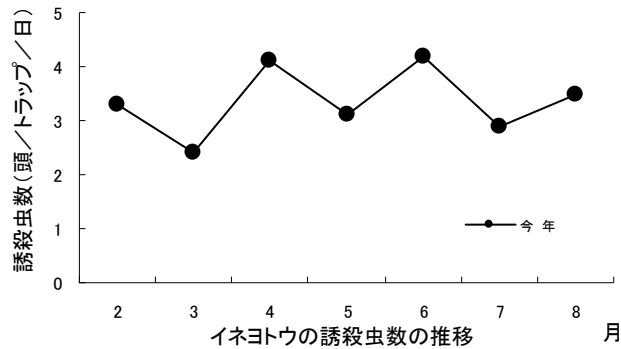
- a 8月のカンシャシクイハマキ合成性フェロモントラップによるトラップ当たり日当たり誘殺虫数は0.8頭(前年3.2頭、平年3.9頭)と平年よりやや少なかった。



<防除上注意すべき事項>

- a ふ化した幼虫は、葉裏や葉鞘部から下部に移動した後、地上部の芽や根帯から食入し、生長点を加害して芯枯れを起こさせ茎を枯死させる。
- b 加害による芯枯れを防止し有効茎を確保するため、生育初期の防除を徹底する。
- c 圃場内外のイネ科雑草は発生源となるため除去する。
- d 植付け時に土壌害虫の防除を兼ねた薬剤(粒剤)を選択し施用する。
- e 平成24年度病害虫発生予察技術情報第5号参照(9月発表予定)。

- イネヨトウの防除対策
 - a 8月のイネヨトウ合成性フェロモントラップによるトラップ当たり日当たり誘殺虫数は3.5頭であった。
 - b 与那国島において、イネヨトウの被害が多発した際の誘殺虫数は2頭以上であった。



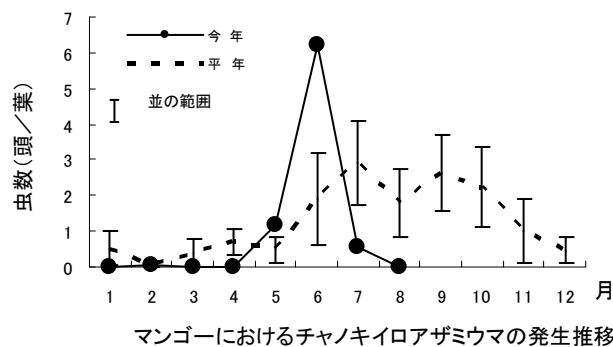
<防除上注意すべき事項>

カンシャシクイハマキの防除上注意すべき事項を参照

- 野その防除対策
 - a 8月中旬の調査の結果、被害茎率は0.5% (前年0.1%、平年0.5%)と平年並であった。
 - b 雑草が繁茂した環境を好むことから、除草を行う。
 - c 剥葉残渣などの野積みに巣を作ることから、野積みを行わない。
 - d 被害の多い地域では、薬剤による一斉防除を行う。

2 マンゴー

- チャノキイロアザミウマ
 - 8月中旬の調査の結果、チャノキイロアザミウマの葉当たり虫数は0.5頭(前年0.4頭、平年1.6頭)とやや少なかった。



<防除上注意すべき事項>

- a 灌水を行う際、噴霧器などで本種を洗い流すように散水し、密度低減を図る。
 - b 発生源となる施設内外の雑草を除去する。
- かいよう病の防除対策
 - a 台風等による折損等の傷から細菌が侵入し発病することから防風対策を図る。
 - b 罹病した部位は速やかに施設外に持ち出し、焼却等の処分を行う。
 - c 罹病枝を剪定した後の剪定器具の消毒を徹底する。